

青山 AWC 第 9 期 (2021 年 6 月着任) チューターからの歓迎コメント

自身の考えを学術的に述べるためには、多くのプロセスが必要になります。課題の意味を考えること、自分の立場や意見を定めること、それを効果的に見せるための根拠を探ること、アカデミックな文法に従って文章化すること、より説得力を持たせるために表現の工夫をすること……。このようなプロセスを踏んで、時には行ったり来たりを繰り返して、ようやくレポートや論文といったみなさん自身の作品が完成します。

AWC はそんなみなさんの作品作りのお手伝いをするところです。今何処にいるのか分からないとき、また場所は分かってもどのように作業を進めたらいいかわからないとき、そんな時には、お気軽に AWC に道を尋ねに来てください。納得のいくゴール＝作品の完成に辿り着くための道のりを、一緒に模索していきましょう！ (S.A)

初めてレポートや論文を書く時に、「何から書けばいいのか?」「どう書くべきか?」と悩む時があると思います。実際に書き始めてみたら、守るべきルールが意外に多く、さらに難しいと感じるかもしれません。それでも、レポートや論文を書くのが楽しくなることはできます。レポートや論文の構成や展開の仕方から、書き上がった文章の最終チェックまで、何でも相談に乗りますので、ぜひ、気軽に相談に来てください！ (Z.L)

「いきなり 1,000 字のレポートを書いてきてって言われても…」このような会話を一度は友達としたことがあるのではないのでしょうか? レポートや論文などのアカデミックな文章についての困りごとのご相談には、ぜひ AWC をご利用ください。基本的な文章の書き方から情報の調べ方まで一緒に考えてサポートしていきます! 文章は一度書き方を理解してしまえば、そのテクニックを日常のさまざまな場面で活用することができます。お気軽にお越しください。(Y.H)



大学に入って初めて論理的なレポート、論文を書く機会が一気に増えてくると思います。そのような疑問を解消するためにぜひ AWC に一度来室してみてください！ 教授や友達に聞けないことも、学生チューターだからこそ皆さんの視点に立ってお話を聞きます！ 論文の書き方からテーマの設定、授業内容までいろんなことを気軽に聞いてください。たくさんの不安を解消するために、来てくれた方1人1人に親切丁寧でわかりやすい支援を心がけます！（K.H）

私自身、卒業論文の執筆が行き詰まった時、レポート、論文の書き方を見直しました。アカデミックライティングの重要性を実感した瞬間です。書き方がわかると文章を書くことに対する抵抗や不安も無くなっていきます。私自身の経験を踏まえて、皆さんのお役に立てるように頑張ります。（M.Y）

